

かしわぎ



11月号
第256号
平成30年
10月31日発行

<http://www.shinjuku.ed.jp/es-kashiwagi/>

「何度でも」を可能にするために

校長 佐藤 郁子

取り立てて野球が好きなのではないですが、読売ジャイアンツの高橋由伸監督が引責辞任を発表し、その後任に「原辰徳」元監督に内定というニュースには、驚きを通り越し、愕然としました。きっと、今の読売ジャイアンツのチーム事情を考えると、原元監督しかないのでしょうか、「監督」という重責を3度も引き受けるとは、何たる精神力。そのパワーの源は、どこからくるのでしょうか。

時を同じくして、全日本女子バレーの中田久美監督の特集番組を見ました。真鍋前監督の下、ロンドン五輪で銅メダルを獲得しましたが、リオ五輪ではメダルなし。その後の就任で、まさしく火中の栗を拾う状態だったそうです。それでもやるのは、誰かがやらなければいけないから。

試合後の記者会見では、監督は結果が悪くてもマイクの前に立ってコメントを述べなければなりません。敗因を考え、次の日からの改善策を立て、実行します。しかし、その策がうまくいくとも限りません。「心が折れませんか？」というインタビューの質問に、中田監督は「心が折れてなんぼでしょう。トップアスリートならば、心が折れないと。そこからです。」と。よく「強い心」と言いますが、「折れない」のが強いわけではなく、折れた心を何度も何度も立て直していきけるのが「強い心」なのだと思います。ドリカムの「何度でも」の歌詞に「10000回だめでへとへとになっても、10001回目は何か変わるかもしれない」とありますが、10001回の「何度でも」を可能にするためには、心が折れたときの立ち直り方が必要です。生きていれば、心が折れる場面はあります。立ち直り方は、人それぞれ。自分で様々な経験をして、身に付けていくしかないのです。

算数少人数の 金井澄子教諭 が10月25日をもって退職となりました。
11月1日より、平松 守教諭 が勤務します。どうぞよろしくお願いいたします。

11月の行事予定

1	木	学芸会特別時程始 学芸会練習 安全指導 会場設営6校時
2	金	学芸会練習
3	土	文化の日 東京都教育の日
4	日	
5	月	全校朝会 学芸会練習
6	火	学芸会練習
7	水	委員会活動6校時 学芸会練習
8	木	音楽朝会 学芸会練習
9	金	学芸会練習
10	土	
11	日	
12	月	全校朝会 学芸会練習
13	火	学芸会練習
14	水	4時間授業 学芸会練習
15	木	学芸会リハーサル 集合写真撮影 5時間授業1～5年 前日準備6校時(6年)
16	金	学芸会(児童鑑賞日)
17	土	学芸会(保護者鑑賞日) 5時間授業
18	日	
19	月	振替休業日
20	火	全校朝会(放送) 体育館片付け1校時(5年)
21	水	クラブ活動6校時
22	木	社会科見学3年(区内めぐり) 持久走月間始(～12/14)
23	金	勤労感謝の日
24	土	
25	日	
26	月	全校朝会
27	火	
28	水	4時間授業 小中養連携の会
29	木	音楽朝会
30	金	

(※毎月17日は給食費・教材費等の引落日です。)
今月の避難訓練は、予告なしで実施します。

11月の生活目標

正しい言葉づかいをしよう

学芸会に向けて

学芸会委員長 今井 貴大

本校では、「学芸会」「音楽会」「展覧会」の文化的な行事を3年に1回ずつ実施しています。本年度は、11月16日（金）17日（土）に学芸会を開催します。1～3年生は初めての、4年生以上は最後の学芸会になります。

それぞれの学年の発達段階に応じて「台詞を間違えないように言おう」「大きな声ではっきり言おう」「小道具を用意しよう」「表情や演技の工夫をしよう」「台詞がないところでも演技をしよう」など、様々な目標をもって取り組んでいます。学芸会は、スポットライトを浴びて舞台の上で演技をします。緊張しドキドキしながらも、練習の成果を出して精一杯演じます。そして学芸会の素晴らしいところは、劇を成功させるために学年みんなが心一つになってつくり上げていくことです。

学年が上がると、音楽や照明、大道具や小道具、ナレーターなど様々な役も自分たちで担います。限られた時間の中で、練習に取り組んで臨む児童の劇の世界を楽しんでいただければと思います。

*** 17日（土）の保護者鑑賞日は舞台前にマット席を設けます。演技をしている学年の優先席となりますので譲り合ってください。**

委員会活動

特別活動部 安部 剛史

学校には、教科以外に特別活動という分野があります。その特別活動の一つに、委員会活動があり、主に5・6年生の全児童が8つの委員会に分かれて活動しています。

委員会活動は、学校生活をよりよくするために責任をもって行動できるように児童を育てる教育活動です。各委員会の活動内容は、以下のとおりです。

代表委員会…4年生の代表も参加。全校児童に関する活動を行います。

放送委員会…校内放送に関する活動、放送機器の準備をします。

図書委員会…図書の貸し出し、図書室整備、図書の啓発活動を行います。

集会委員会…児童集会の企画運営をします。

体育委員会…体育的活動の促進、体育用具の整備をします。

健康委員会…保健・衛生・給食に関する活動を行います。

環境委員会…校内美化・栽培活動を行います。

広報委員会…校内新聞の作成、掲示などによる広報活動を行います。

女神湖合同移動教室

柏葉学級担任 重松 寿星

10月3日（水）～5日（金）、新宿区内の特別支援学級5校合同で女神湖移動教室に行ってきました。柏葉学級からは4年・5年・6年生の9名が参加し、秋風さわやかな蓼科の地で2泊3日を共に過ごしました。

移動教室に向けて、荷物整理や布団敷き、入浴の練習など事前学習を積み重ねてきました。将来の生活の自立に向けて、どれも大切な学習です。

今年も天気に恵まれ、車山ハイキングでは全員一生懸命歩き、登頂することができました。夜のお楽しみ会は柏葉学級の児童が司会を務め、他校の友達と一緒にレクを通して交流し、大盛り上がりでした。子どもたち全員が役割を果たし、協力して集団生活を送ることができました。

《移動教室での思い出》

- 自分でもいだりんご狩り。丸かじりをした。
- ヤギがかわいかった。えさをたくさんあげた。
- もうもうで飲んだココアがおいしかった。
- お土産の買い物。キーホルダーを買った。
- 権現山公園でカエルをいっぱいつかまえた。
- バスの中での司会を頑張った。うまく言えた。
- みんなで入ったお風呂が気持ちよかった。
- 他の学校の友達がいっぱいできてよかった。
- 牛が怖かったけど、乳しぼりが楽しかった。



まなびの教室

専門員 宮下 洋子

「読むのはできるけど、書くのは苦手」「どうしても忘れ物をしてしまう」、というように、子どもたちは一人ずつ得意なところ、苦手なところが違います。

また、耳から聞いた方が理解しやすく学習が進む児童もいれば、目で見て確認した方が学習しやすい児童もいます。

得意、不得意の差が大きい場合は、その児童に合ったまなび方を学習したり、さまざまな場面での対応の仕方を個別に学んだりすることが必要な場合があります。

「まなびの教室」では在籍する学級で友達と過ごしながらか、週に何時間か個別や少人数で自分にあった学び方、苦手な場面での対応の仕方を学びます。

一人一人の子どもが十分に力を発揮して楽しい学校生活が送れるよう、まなびの教室の担任と学級担任が連携をとりながら指導をすすめています。